

# 区民会議フォーラムの結果について

## 1 目的

- (1) 第4期川崎区区民会議の活動、審議テーマと提案・取組状況の公表・周知
- (2) 第4期川崎区区民会議の審議テーマと提案・取組状況に対する区民との意見交換、区民の意識啓発、地域における担い手の発掘など

## 2 日時・場所・参加者

- (1) 日時：平成25年11月23日（土）14時～16時30分
- (2) 会場：教育文化会館 大会議室
- (3) 参加者：115名

## 3 内容（プログラム）

- (1) 第4期川崎区区民会議の審議・取組状況の紹介

- ア 川崎区区民会議について
- イ みんなのまちづくり部会
- ウ すこやか・共に生きる部会

- (2) バス試走体験

2回試走（15時、15時45分発）。乗車41名

- (3) 囲碁・将棋を活用した世代間交流

参加者約10名（子ども2人含む）

- (4) 外国人市民向け防災訓練の検討

参加者：外国人市民を支援する団体関係者5名、区危機管理担当等

主な意見

- ア 現状の課題について

- ・災害に関する多言語資料が外国人市民に届いていない。周知や配布の方法に工夫が必要
- ・災害時要援護者の申請フォームが多言語化されていないことにより、ほとんどの外国人市民が申請できていない。
- ・外国人市民へどのように情報を伝達するのかネットワークができていない。
- ・外国人市民が大勢集まる場を防災訓練の会場や資料配布の場として活用しない手はない。

- イ 外国人市民向けの防災対策に関する考え方について

- ・外国人市民と地域の人の出会い、共に生きる関係づくりが必要。地域の人と外国人市民と行政と一緒に考えていく環境づくりが重要
- 外国人市民に向けた防災情報の発信の方法について
- ・町会加入の案内や支援団体の紹介を多言語でもっと発信してはどうか。
- ・区役所で転居時に渡されるウェルカムセットに町内会のシステムや防災に関する資料を多言語で入れる。
- ・防災訓練の報告書の写真入り多言語ダイジェスト版を作成し、地域での紹介や防災情報発信に活用する。
- ・日ごろ使うことが多い災害時(避難所での掲示物を含む)に想定される定型文を翻訳し準備しておく。
- ・外国人がいるところに出向いた情報提供や企画実施が必要
- 外国人市民に向けた防災訓練の実施について
- ・外国人市民だけを集めた防災訓練と、地域の人や自主防災組織と一緒に行う防災訓練の両方が必要。一緒に体験することでお互いを知るきっかけとなる。
- ・訓練の実施に際しては、実行委員会形式で関係団体の意見を取り入れ(地域側の受入の土台を作りながら)、準備を進めていくことが重要

## (5) ポスターセッション 区民のみなさんからいただいた意見(回答数7件)

### 【新しいバス運行について】

- ・京町・小田～大師のルートは検討していないのですか。
- ・追分から小田に行けるバスがあると聞いたが、調べてもわからず、自転車で行き来している。
- ・高齢になると本町からも駅に出るのは大変。近所がもっと栄えると駅に出なくても良いのに。

### 【地域で子どもを支える取組について】

- ・各地域で特色が違うので、それに合わせた取組が必要

### 【外国人市民に情報を伝える方法について】

- ・ゴミ回収方法が変わり、外国人はわからないのではないか。

### 【その他】

- ・イベント時、バスが満員になり、何台待っても乗れなくなる。
- ・JR川崎へ行くバスはたくさんある。左から右、右から左を往復だけのバスはできないのか。

## (6) 講演「認知症予防と運動」

講師：本山輝幸氏(総合能力研究所所長) 参加者約50名

## (7) その他(成果、反省、今後の課題)